

演奏に
役立つ

One Point Lesson

CLARINET

クラリネット

太田友香 おおた・ゆか



- ◆出身 茨城県立日立第一高校、昭和音楽大学
- ◆所属 東京佼成ウインドオーケストラ
- ◆趣味 食べる事、映画鑑賞
- ◆血液型 AB型
- ◆星座 蠍座
- ◆読者にひとこと 楽しむ心を忘れずに☆
- ◆手紙の送り先 BJ 気付

クラ吹きならではの悩み…… リードミス、指まわりの問題を解決しよう!!

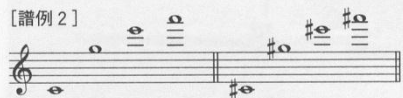
みなさんこんにちは! お元気ですか?
風邪やインフルエンザが流行っている地域も
多々あるようです。節分も終わり、暦の上
では春だというのにまだまだ寒い日が続きま
すが、体調に気をつけて今日も元気に練習し
ましょう♪

このワンポイントレッスンも残すところあと
2回となりました。今回のレッスンでは、
「なぜリードミスって起こるの?」や、「どう
やったら速く指がまわるの?」というよう
な、クラリネット吹きなら何度となく悩まされる
問題について、みなさんと一緒に考えていき
たいと思います!

■リードミスをしないために

私も、ときどきびっくりするようなタイ
ミングでリードミスをしてしまい、血の気が引
くことがあります。そもそもリードミスとは
どのようにして起こるのかわかりますか?
試しに【譜例1】の「ソ」の音を、高い音
を出すときのような息づかいで思い切り吹い

てみましょう!音が
ひっくり返って「ソ」
の右側に記譜された



【譜例2】
↓リードミスしやすい音域



【譜例3】

♩ = 100~120 (A)

♩ = 80~100 (C)

♩ = 80~100 (D)

♩ = 80~100 (E)

「レ」の音が出たでしょうか? ひっくり返
って出たこの音は、「ソ」に対しての倍音と
呼ばれるもので、これがリードミスの原因と
なってしまったのです。

各音には、それぞれその音が鳴るツボがあ
り、そのツボにしっかりと息を入れるこ
とで、よい音程・音色が可能となります。た
またま、その息のツボが外れてしまった場合
に倍音が鳴ってしまうのです。しかし、1つ
の音から出る倍音は決まっているので、それ
らを吹き分けられるようになれば、リードミ
スを防ぐ手助けにもなります。【譜例2】で、
それぞれの倍音のパターンと、とくにリード
ミスが出やすい音域を載せました。同じ運指
のまま息づかいだけで吹き分けの練習をし
てみましょう! 高音では、息の圧力を増やし、
吹きこむ方向を上げて、マウスピースを普段
よりも少しかむようにするとうまくいくと思
います。すなわち、無意識でこういう状態に
なるとリードミスが出てしまうんですよ。

これ以外にも、指がちゃんと塞がってい
ない場合、または押すつもりではないキイを間
違って触ってしまった場合、リードが乾燥し
てしまっている場合などでも、リードミスは
出てしまいますので、この点も気をつけてみ
てくださいね。

何よりも大事なことは、けっしてリードミ
スを怖がらないことです! 出したい音のツ
ボを積極的に狙い、迷いなく息を入れましょ
う。そこでリードミスしてしまったらそれは
そのときです。どんなプロのプレイヤーでも

リードミスは起こりま
す。人間である限り失
敗ゼロの完璧には演奏
できません。ただし、
狙いの的中率をでき
るだけ100%に近づけ
ることはできますよ!
この息づかい、初めは

難しいかもしれませんが、息を自在に操れる
ようになったら、高音域での息の入れ方がこ
れまでよりさらに安定することにも繋がりが一
石二鳥ですから、繰り返し何度もやってみて
くださいね!

■速いパッセージを

なめらかに吹くために

では次は、速いパッセージが転んだりせず、
なめらかに吹けるようになるための練習で
す! これには指の訓練が必要で、一朝一夕
ですぐに指がまわるようになる……という
魔法のような方法はありません。速く走れる
ようになるために長期的な筋トレが必要なの
と同じですね。

まずは音抜けしたり転んでしまう指を、リ
ズム練習で矯正することが大切です。【譜例
3】で十六分音符や三連符のときに有効な
リズムを載せたので、一緒に練習してみましょ
う! 必ずメトロノームを使ってフォルテ
で練習してくださいね! (A)・(B)のときに大
切なことは、付点のリズムが三連符のように
甘くならないことです。このリズムに対する
厳しさが、確かな指の訓練に繋がります。そ
して、この(A)・(B)や(C)・(D)・(E)は5回ずつ、
10回ずつなど、同じ回数ずつ練習するよう
にしてリズム練習をしたら、楽譜通り“ゆっく
りから”メトロノームで吹くようにしましょ
う! この練習の仕方を基本に、自分の楽譜
と照らし合わせて活用してみてください。

まわり道のように思えるかもしれませんが、
こうした練習をすることで、元の楽譜のまま
ひたすらさらうよりも、実は短期間で効果が
現れて正確に吹けるようになります! 私は
学生の頃この方法を先生に教えていただき、
今でも難しいパッセージは、とにかくリズム
練習を繰り返し練習するようになっていますゆ
ますますクラリネットを吹くのが楽しくなる
よう、今回ご紹介した練習を取り入れてみて
くださいね! ではまた来月!!